

環境経営レポート

(2023. 10. 1 ~ 2024. 9. 30)



事業者名	大翔建設株式会社
所在地	東京都葛飾区奥戸二丁目40番6号
作成日	令和6年12月25日

事業の概要

1) 事業所名及び代表者名

大翔建設株式会社 代表取締役 三村 徹也

2) 所在地

本社: 〒124-0022

東京都葛飾区奥戸二丁目40番6号

吉川資材置場: 〒342-0027

埼玉県吉川市大字三輪野江字草刈場2113

3) 事業活動の内容

葛飾区・足立区・江戸川区等地域に密着した建築工事(役所・学校の耐震工事や都営住宅のスーパーリフォーム工事等)を主に実施。

4) 事業の規模

売上高 …… 令和6年度 1,256 百万円

事業許可番号 …… 東京都知事許可 特-3 第1797号

登録範囲 …… 建築・とび・土工・屋根・板金・塗装・防水・内装仕上・建具

従業員 …… 11 名

5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡表

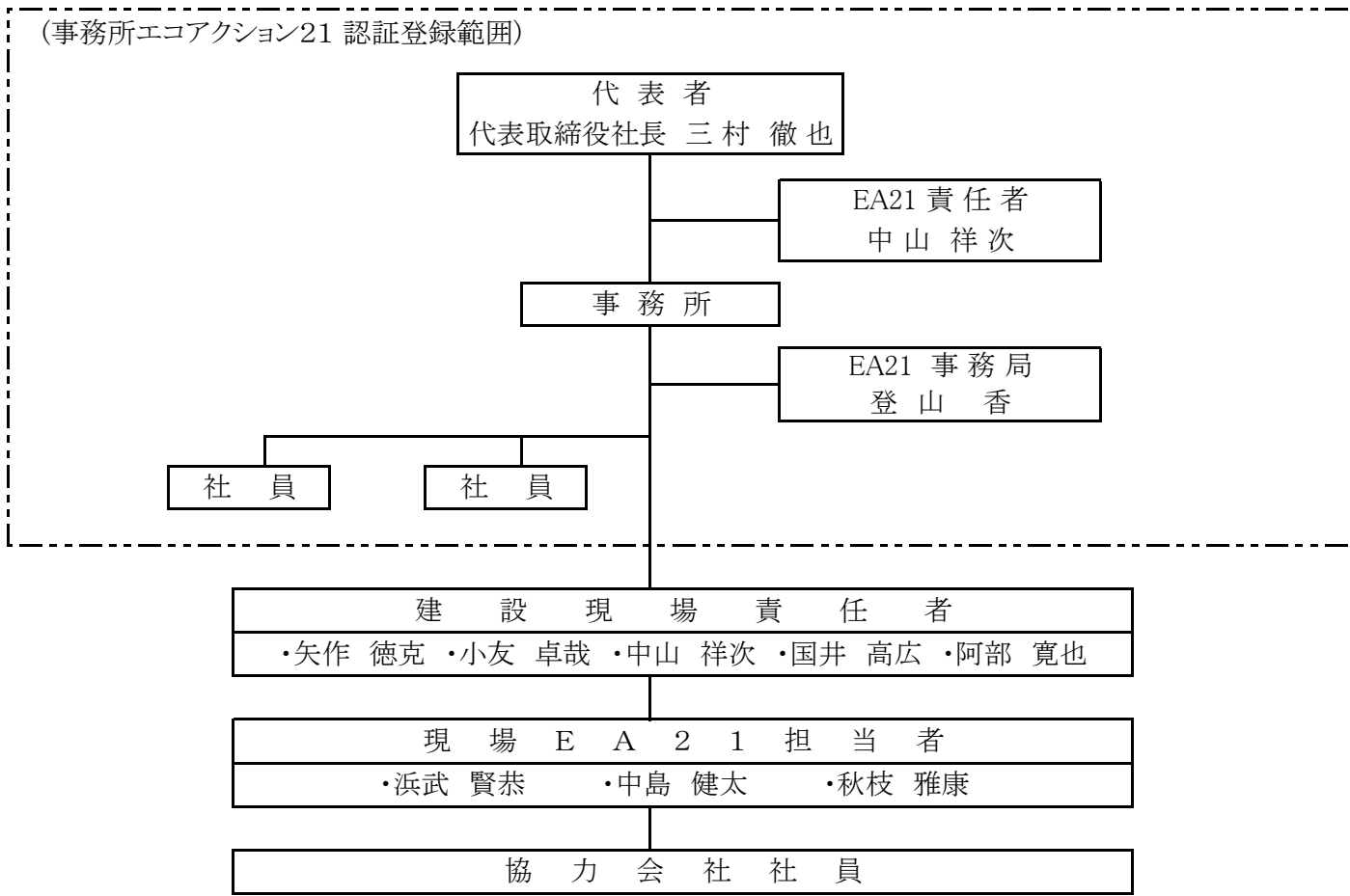
環境管理責任者 …… 中山 祥次

担当者 …… 登山 香

連絡先 …… TEL 03-3692-8181

大翔建設株式会社 EA21 実施体制

(事務所エコアクション21 認証登録範囲)



	役割・責任・権限
代表者 (社長) 三村 徹也	1. 環境方針の策定 2. 経営資源の準備 3. 代表者による全体の評価と見直し 4. 環境活動レポートの承認 5. 環境目標及び環境活動計画の承認
EA21 責任者 EA21 委員会 中山 祥次	1. EA21システムの確立、実施推進、維持管理 2. 事務所・建設現場の環境目標及び環境活動計画の策定 3. 環境への負荷及び取組への自己チェックの実施 4. 環境活動レポートの作成 5. 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の確認 6. EA21に関する実施状況の把握と報告 7. 教育訓練計画の策定と実施
EA21 担当 (事務局・建設現場) 浜武 賢恭 中島 健太	1. 環境方針の周知徹底 2. 環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 従業員及び作業員に対する教育訓練の実施 4. 環境緊急事態の手順書の作成・テスト・訓練・記録 5. 問題点の発見、是正、予防措置
事務局 登山 香	1. EA21責任者・EA21担当者の補佐業務 2. 環境文書及び記録の作成・管理 3. その他EA21に関する業務

環境経営方針

総合建設工事業である大翔建設株式会社は、地域社会を通じ環境との共生、調和を目指し、自ら責任を持ち全従業員をあげて環境に配慮した活動に取り組み、環境経営の継続的改善を図りつつ、地域、社会に貢献します。

1. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 工事等で発生する廃棄物の排出量削減とリサイクルに努めます。
3. 総排水量(使用する水資源)の削減に努めます。
4. ボランティア活動を通じて地域社会の貢献に努めます。
5. 全従業員が環境方針を理解し、活動できるように教育の徹底を図ります。
6. 環境関連法規を遵守します。
7. 工事関連書類のペーパーレス化(書類の電子化)に努めます。

改訂 令和6年11月1日

大翔建設株式会社

代表取締役 三村 徹也

06年度の環境目標と実績、環境活動計画の取組結果・評価 本 社

令和6年12月18日 作成者:登 山

1. 事業所

活動結果 運用期間 2023年10月～2024年9月
(令和5年10月～令和6年9月)

目 標	単 位	実施場所	基 準 値	基準値に対する目標	実 績	評 価
電力の使用量の削減	KWh	事務所	(02年度) 6,227	(CO2値) 6,227 (2,960)	(CO2値) 7,119 (3,381)	未達成
ガソリンの使用量の削減	ℓ		1,937	1,937 (4,496)	1,655 (3,842)	達成
都市ガスの使用量の削減	Nm3		0	0 (-)	- -	-
軽油の使用量の削減	ℓ		0	0 (-)	- -	-
灯油の削減	ℓ		0	0 (-)	- -	-
CO2の削減	kg-CO2	合計		(7,456)	(7,223)	達成
一般廃棄物の削減 (事業系有料ゴミ 処理券の削減) (リサイクルは除く)	t	事務所	(H30年度) 0.2t	0.2t	0.09t	達成
水資源使用量 の削減	m ³	事務所	(H30年度) 55	R06年度から、数値目標 は定めず、節水に取り組 むよう努めることとする	-	達成

使用電力起源のCO2排出量の算出にあたって使用した係数:0.475kg-CO2/kwh
現場を含むCO2の総排出量:35,201kg-CO2

結果の分析と評価

・ 二酸化炭素の削減

電力量	1年を通じて電気の使用量が多かった。猛暑の影響で空調の使用が多く、節電が難しかった。 他の電気製品への節電を徹底し、次年度は目標達成できるよう努力したい。
-----	--

化石燃料	ガソリンについては、今年度も公共交通機関や自転車を使用する等、社用車の使用を抑えるよう努めた。
------	---

・ 廃棄物排出量の削減

ゴミ処理券 削減	昨年度同様、事業系一般廃棄物の排出量は、分別をより強化することで達成できた。
-------------	--

06年度の環境目標と実績、環境活動計画の取組結果・評価 現場(豊洲市場(4)6街区連絡橋整備工事)

令和6年10月10日 作成者:浜 武

活動結果 運用期間 2023年10月～2024年9月

目標	単位	実施場所	参考値	実績	
CO2の削減	kg-CO2	豊洲市場(4)6街区 連絡橋整備工事	(総合スポーツセンター)	0	
			電力		7,096
			ガソリン		1,843
	軽油	3,334	22,882		
	kg-CO2 合計		12,273	25,379	
廃棄物排出量の削減	%	豊洲市場(4)6街区 連絡橋整備工事	リサイクル率75%	32.2% (64.03t / 198.84t)	
水資源使用量の削減	m ³			527	

使用電力起源のCO2排出量の算出にあたって使用した係数:0.475kg-CO2/kwh

結果の分析と評価

・ 二酸化炭素の削減

電力量	電気が通っていないため、利用なし。
-----	-------------------

化石燃料	早朝作業が多く、公共交通機関では開始時間に間に合わないため、社用車の利用が多かった。また電源が無いので、発電機用に軽油を使用することが多かった。
------	--

・ リサイクル率の管理

産業廃棄物	汚泥が埋立となってしまう、リサイクル率が下がってしまった。汚泥以外の産廃については分別を徹底し、再利用に回せるよう努めた。
-------	---

・ 水資源使用量の削減

水道使用量	主に杭工事で使用。それ以外はほとんど使用しなかった。
-------	----------------------------

06年度の環境目標と実績、環境活動計画の取組結果・評価 現場(葛飾区清掃事務所建築工事)

令和6年10月10日 作成者:中 島

活動結果 運用期間 2023年3月 ~ 2024年9月

目標	単位	実施場所	参考値	実績	
CO2の削減	kg-CO2	葛飾区清掃事務所建築工事	(西小菅小)	18,165	
			電力		7,294
			ガソリン		3,969
			軽油		5,005
kg-CO2 合計			16,268	20,956	
廃棄物排出量の削減	%	葛飾区清掃事務所建築工事	リサイクル率75%	100.0% (209.82t / 209.82t)	
水資源使用量の削減	m ³			814	

使用電力起源のCO2排出量の算出にあたって使用した係数:0.475kg-CO2/kwh

結果の分析と評価

・ 二酸化炭素の削減

電力量	現場事務所と防犯カメラで使用。電気工事と空調・給排水設備工事を担当している2社に現場事務所を貸していたため、弊社だけの使用量を管理することが難しく、使用量が多くなった。
-----	--

化石燃料	重機や発電機で利用する機会が多かった。個人では自転車を利用するよう努めた。
------	---------------------------------------

・ リサイクル率の管理

産業廃棄物	元々埋まっていたコンクリート基礎を廃棄したため、リサイクルできるものが多かった。また、徹底して分別を行い、リサイクルに回せるよう努めた。
-------	--

・ 水資源使用量の削減

水道使用量	張り紙をして節水を呼び掛ける、水道の先端にストッパー器具を付けて、出しっぱなしにしない等、節水を心掛けた。
-------	---

06年度の環境目標と実績、環境活動計画の取組結果・評価 現場(葛飾区立二上小学校建築工事)

令和6年10月10日 作成者:中山

活動結果 運用期間 2023年12月～2024年9月

目標	単位	実施場所	参考値	実績	
CO2の削減	kg-CO2	葛飾区立二上小学校建築工事	(西小菅小)	8,033	
			電力		7,294
			ガソリン		3,969
			軽油		5,005
kg-CO2 合計			16,268	11,570	
廃棄物排出量の削減	%	葛飾区立二上小学校建築工事	リサイクル率75%	99.4% (1,862.85t / 1,874.68t)	
水資源使用量の削減	m ³		2,486	823	

使用電力起源のCO2排出量の算出にあたって使用した係数:0.475kg-CO2/kwh

結果の分析と評価

・ 二酸化炭素の削減

電力量	熱中症対策のためエアコンや送風機の使用が多かった。電気をこまめに消したり、省エネ対策の機器を使用する等の節電を心掛けた。
-----	--

化石燃料	基礎工事の際は電気が通っていなかったため、発電機や重機を使うのに化石燃料の使用が多かった。
------	---

・ リサイクル率の管理

産業廃棄物	分別を徹底し、リサイクルに回せるものをこまめにチェックし、埋め立てとなる廃棄物の削減に努めた。
-------	---

・ 水資源使用量の削減

水道使用量	張り紙をして節水を呼び掛ける、水道の先端にストッパー器具を付けて、出しっぱなしにしない等、節水を心掛けた。
-------	---

今後の環境経営目標

1) 本 社

取組項目	目標達成	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度
	基準値と単位		〔R02年10月 ～R03年9月〕	〔R03年10月 ～R04年9月〕	〔R04年10月 ～R05年9月〕	〔R05年10月 ～R06年9月〕	〔R06年10月 ～R07年9月〕
1. 電力使用量の削減	6, 227kwh	R02年度を基準値とし、使用量を維持 6,440kwh	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
2. ガソリン使用量の削減	1,937ℓ	R02年度を基準値とし、使用量を維持 1,807ℓ	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
3. 軽油使用量の削減	0ℓ	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
4. 灯油の削減	260ℓ	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
5. 二酸化炭素排出量の削減	7,456 kg-CO2	R02年度を基準値とし、使用量を維持	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
6. 廃棄物排出量の維持	事業系有料ゴミ処理券使用枚数 9 枚 (0.2t)	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
7. ボランティア活動の推進	葛飾建築協会主催のボランティア活動に参加する	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左

2) 現 場

取組項目	目標達成	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度
	基準値と単位	〔R02年10月 ～R03年9月〕	〔R03年10月 ～R04年9月〕	〔R04年10月 ～R05年9月〕	〔R05年10月 ～R06年9月〕	〔R06年10月 ～R07年9月〕
1. 二酸化炭素排出量の削減 (電力、ガソリン、軽油、都市ガス、灯油)	排出量を管理し、ポスターの掲示や社員教育等の啓発活動を実施する	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
2. 産業廃棄物のリサイクル率の向上 注1	リサイクル率 75%	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
3. 工事関係書類のペーパーレス化	工事関係書類のデータ化	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左

注1: 建設リサイクル法に該当する工事は法規定目標値以上とします。

今年度の環境経営計画

2023年10月 作成

1. 二酸化炭素排出量削減

「目標」 R02年度と同等

- 1) 社内照明の消灯の徹底
- 2) 昼食休憩時間の消灯の徹底
- 3) 休日のPC待機電力の削減
- 4) 二酸化炭素削減に対する教育の実施
 - a. 消費電力の削減のための教育
 - b. ガソリン・軽油・灯油等の削減のための教育
 - c. 都市ガス等の削減のための教育
- 5) 各部屋等のスイッチに「消灯にご協力を！」掲示
- 6) 2F事務室・食堂の窓の二重化により、冷暖房負荷の低減のためブラインドの有効活用を図る。
- 7) 2F 高効率照明器具(LED)の消灯の徹底

2. 産業廃棄物のリサイクル率の向上

「目標」 産業廃棄物のリサイクル率 75%

- 1) 廃棄物の分別強化
- 2) 廃棄物分別保管箱の増設
- 3) 廃棄物に関する教育の実施
- 4) ゴミ置き場に「ゴミ分別にご協力を！」掲示
- 5) シュレッターにかけるものの分別強化

3. 地域社会への貢献

- 1) 葛飾建築協会主催のボランティア活動に参加
- 2) 会社周辺及び現場周辺の清掃活動

4. 工事関係書類のペーパーレス化

- 1) 工事関係書類(施工体制台帳、施工報告書、現場写真、産廃マニフェスト等)の電子化
- 2) 本社ファイルサーバを利用した書類の共有化

次年度の環境経営計画

2024年10月 作成

1. 二酸化炭素排出量削減

「目標」 R03年度と同等

- 1) 社内照明の消灯の徹底
- 2) 昼食休憩時間の消灯の徹底
- 3) 休日のPC待機電力の削減
- 4) 二酸化炭素削減に対する教育の実施
 - a. 消費電力の削減のための教育
 - b. ガソリン・軽油・灯油等の削減のための教育
 - c. 都市ガス等の削減のための教育
- 5) 各部屋等のスイッチに「消灯にご協力を！」掲示
- 6) 2F事務室・食堂の窓の二重化により、冷暖房負荷の低減のためブラインドの有効活用を図る。
- 7) 2F 高効率照明器具(LED)の消灯の徹底

2. 産業廃棄物のリサイクル率の向上

「目標」 産業廃棄物のリサイクル率 75%

- 1) 廃棄物の分別強化
- 2) 廃棄物分別保管箱の増設
- 3) 廃棄物に関する教育の実施
- 4) 廃棄物の再利用
- 5) ゴミ置き場に「ゴミ分別にご協力を！」掲示
- 6) シュレッターにかけるものの分別強化

3. 地域社会への貢献

- 1) 葛飾建築協会主催のボランティア活動に参加
- 2) 会社周辺及び現場周辺の清掃活動

4. 工事関係書類のペーパーレス化

- 1) 工事関係書類(施工体制台帳、施工報告書、現場写真、産廃マニフェスト等)の電子化
- 2) 本社ファイルサーバを利用した書類の共有化

環境関連法規への違反・訴訟等の有無

確認者 登山

最終確認日 R06.12.18

法規	条項	当社の対応	遵守状況確認	
			事務所	現場
騒音・振動規制法	2条3項 14条	対応する現場において作業の7日前までに提出	—	○
廃掃法	政令3条・6条	囲い、掲示板の設置確認	○	○
排出事業者として	政令6条の2 法12条の3 法12条の3の6項	許可された一般・産業廃棄物運搬、処分業者に委託 マニフェスト発行・報告確認 前年度分を6月末までに都道府県知事に報告 (平成27年度からマニフェストを電子化)	○	○
特別管理産業廃棄物 (石綿) 都条例	123条 124条	対応する現場において提出 特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	—	○
建築基準法		内装仕上材 F☆☆☆☆ の確認 製品安全データシート(MSDS)の確認	—	○
建設リサイクル法	10条 13条 18条	対応する現場において、再生資源利用計画の作成 及び提出	—	○
資源有効利用促進法	15条	工事毎に再生資源(土砂、コンクリート塊、コンクリート・アス ファルト塊)の利用計画と実施記録	—	○
労安法	12条の2 14条	対応する現場において提出	—	○

- ・ 弊社は関係法令・条例・規則等を遵守しています。
- ・ 過去24年10月1日から05年9月30日までの間、関係者当局より順守すべき法令の違反、及び利害関係者からの訴訟提起を受けておりません。

- 確認済み
- △ 未確認
- 対象外
- × 違反

代表者による全体の評価と見直し

令和 6年 12月 18日

(1) 二酸化炭素の排出量削減

① 昨年度指摘事項への対応

昨年度指摘事項：電気や化石燃料の消費量を削減する。

対 応：遠距離の工事現場の場合は、必要最低限以外の工事車両の使用を控え、近隣への移動は自転車を使用するようにした。

② 評 価

遠方の工事現場へも公共交通機関を利用する、近隣への移動は自転車を利用する等、削減に努めていた。
電力の使用量については、猛暑の影響でエアコンの使用が多く、電力を使用する機会が多かった。

③ 指示事項

引き続き電気や化石燃料の消費量を削減する。

(2) 一般廃棄物の削減

① 昨年度指摘事項への対応

昨年度指摘事項：本社だけでなく現場事務所でも、3Rを意識して行動すること。

対 応：購入前にリサイクルにまわせる品物かどうか検討したり、廃棄する際に分別を徹底するよう努めた。

② 評 価

現場から購入の際に本社に相談したり、処分する前に分別を徹底するよう努めていた。
今後も継続していくよう努める。

③ 指示事項

今後も削減の努力を継続していく。

(3) 化学物質の管理

① 昨年度指摘事項への対応

指摘事項：工事現場での適正な運用を心掛ける。

対 応：使化学物質のデータシートの確認を徹底し、PRTR対象の物質の使用を控える、管理体制を整備する。

② 評 価

発注時にPRTR対象の物質を除く、材料の管理場所の整備、業者への適正な管理を促す等の努力をしている。

③ 見直し事項

今後も適正な運用を心掛ける。

(4) 廃棄物のリサイクル率の向上

① 昨年度指摘事項への対応

指摘事項：適正な管理を心掛け、リサイクル率の達成に努める。

対 応：より分別を徹底し、リサイクル率を高めた。

② 評 価 昨年度から引き続き、分別の徹底を行い、リサイクル率を高める努力をしている。

③ 見直し事項 今後も適正な管理を心掛け、リサイクル率の向上に努める。

(5) 工事関係書類のペーパーレス化

① 昨年度指摘事項への対応

指摘事項：社員間での情報共有や、業務の簡素化を図る。

対 応：端末を新型のものに買い換え、社員間の電子データの利用促進を図り、紙ベースの書類の削減に努めた。

② 評 価 電子機器の活用で、社員間や協力会社とのデータのやり取りが簡素化され、資源の節約とともに仕事の効率化も図れることが評価できる。

③ 見直し事項 今後も継続していく。

(6) 環境経営方針及び実施体制

環境経営方針及び実施体制について、現行の取組が良好であることから、次年度も継続する。

大翔建設株式会社

三 村 徹 也
